

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	保健医療情報学	
科目基礎情報							
開設学科	医療事務科		コース名			開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	選択		時間数	30時間
単位数	2単位					授業形態	講義
教科書/教材	診療情報管理士テキストⅢ/(株)日本病院会						
担当教員情報							
担当教員	高野 泰志			実務経験の有無・職種	有・医事課長		
学習目的							
ITCの発展は、社会を変革しつつある。保険医療分野についても同様であり、この分野へのITCの応用、すなわち保険医療の情報化がもたらした結果は、きわめて大きなものがある、今後、診療情報の電子化はますます進展し、医療機関内の情報化から地域医療の情報化へ、また、医療のみならず保険・医療・介護・福祉分野のICTによる情報の連携が実現しつつある。このような時代の診療情報管理士には、ICTを活用して有効かつ確に診療情報を管理・二次利用できる能力が必要とされる。保険医療情報の情報科学のセキュリティ管理、個人情報保護の方法などについて学習し、ICTを活用した的確な診療情報管理が保健医療の質の向上に貢献する必要がある。							
到達目標							
診療情報管理士の業務として、医療機関の情報化、地域医療の情報化、様々な医療機関での情報連携、セキュリティ管理、個人情報保護について理解する。							
教育方法等							
授業概要	医療機関で働く上で診療情報の取り扱いは必要なことであり、それを行うための知識が求められる。 授業では具体的な事例を踏まえて説明する。						
注意点	診療情報管理士として医療機関で仕事をする際に必要な知識を学ぶ。 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状況により、内容が前後する場合がある。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	80%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 (口頭・実技)	0%					
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	保健医療情報学			医学・保健医療と情報、保険医療情報学と診療情報管理士について理解できる			
2回	医療情報の特徴を種類			医療情報と診療情報、診療情報の種類と特性、診療情報の一次利用と二次利用について理解できる			
3回	行政が進める保健医療の情報化政策			保健医療の情報化政策の歴史、診療記録の電子化に関する法規、保険制度における保健医療情報化の支援について理解できる			
4回	医療情報システム（1）			医療情報システム、病院情報システム概論について理解できる			
5回	医療情報システム（2）			部門の業務を支える情報システム、オーダエントリシステムについて理解できる			
6回	医療情報システム（3）			電子カルテシステム、地域医療情報システムについて理解できる			
7回	診療情報の二次利用（1）			データウェアハウス、医療ビックデータについて理解できる			
8回	診療情報の二次利用（2）			治験、診療情報管理士の役割について理解できる			
9回	個人が管理する保健医療記録			HERとPHR、実装の動向について理解できる			
10回	医療情報の標準化（1）			標準化の枠組み、医療情報の伝送のための標準化について理解できる			
11回	医療情報の標準化（2）			医療情報分野における用語・コードの標準化について理解できる			
12回	医療情報の標準化（3）			ICD対策標準病名マスターについて理解できる			
13回	情報セキュリティ（1）			診療情報の安全管理、医療情報システムの安全管理について理解できる			
14回	情報セキュリティ（2）			医療情報システムにおけるセキュリティ対策について理解できる			
15回	情報セキュリティ（3）			診療情報管理士としての実践すべき事項について理解できる			